

グローバルでのマネジメント強化

1988年、東洋インキグループは本格的なグローバル展開を開始し、マレーシア、アメリカ、中国にグループ会社を設立しました。現在では、売上高の46%、社員の62%を海外が占めています。東洋インキグループは、グローバル市場での競争を勝ち抜くと同時に、ステークホルダーから十分な信頼を得るため、グローバルでのマネジメントを強化しています。

グローバルマネジメントフォーラム

2019年5月に「グローバルマネジメントフォーラム」を開催しました。グループ経営会議メンバー、各地域の代表・各社の社長・取締役および関連部門長がグループのグローバル戦略・施策や、各地域の事業戦略課題の共有などを行い、フォーラム後に「共同声明」を



グローバルマネジメントフォーラム

情報発信と共有化

東洋インキグループは、拠点運営に有用な業務の標準化を進めており、2015年度に「拠点経営ガイドブック」を作成し海外の関係会社に配布しています(2018年1月に第2版を配布)。また、人事の基本的な考え方を体系化した「人事ポリシー」を配布し、人事に関するビジョン・戦略の共有を図っています。

海外ガバナンス体制の見直しと強化

2019年8月に発覚したTOYO INK COMPOUNDS CORP. (フィリピン)における不適切な会計処理事案を受け、外部専門家を含む特別調査委員会を設置し、事実関係の調査と原因究明、他の海外子会社における類似事案の存否確認などを実施、12月に調査報告書を受領しました。東洋インキグループはこの調査結果を真摯に受け止め、不正を防止牽制できる業務プロセスの構築や駐在員の教育などの再発防止策を順次実施しています。

WEB 「調査報告書」「再発防止策」については、当社ウェブサイトの「ニュースリリース・お知らせ」に掲載しています。また、本件に関する新しい情報を当社ウェブサイトに随時掲載いたしますのでご参照ください。